

C05 熊野第一小学校・和太鼓「筆が舞う」保存会

代表者：栗原 築波

住 所：安芸郡熊野町中溝4-4-1 熊野町立熊野第一小学校内

TEL：082-854-0111

① 担当社会福祉協議会

熊野町社会福祉協議会

住 所：安芸郡熊野町中溝1-11-1 中央地域健康センター内

TEL：082-855-2855

② 地域課題の解決のための事業の名称

和太鼓「筆が舞う」の継承と充実

③ 事業の総予算額(助成金申請額)

400,000円(400,000円)

④ 事業の目的

和太鼓「筆が舞う」の継承と充実のために、和太鼓練習のための締太鼓、バチ、台座等を購入する。

⑤ 事業の内容

熊野町は古くから筆産業が盛んであり、伝承されている「筆おどり」や「筆まつり唄」などは、児童にもなじみが深く、地域の伝統文化として定着している。本校では、このような地域の特性を生かした取組として「低学年書道科」を導入し、1年生から毛筆に親しみながら、学習に臨む基本姿勢や心構えの指導を行っている。さらに、運動会では、地域の方から学んだ「筆おどり」を披露している。

これらの「筆」を中心とした地域学習のまとめとして、6年生では和太鼓組曲「筆が舞う」に取り組んでいる。この「筆が舞う」は、平成19年に、社会教育委員で熊野吹奏楽団の指揮者である長野広幸氏に作調していただいた楽曲で、毎年、6年生が学習発表会で、下級生や地域・保護者の皆様に披露し好評を得ている。特に、下級生は憧憬の情をもって鑑賞しており、本校の伝統の一つとなっている。

現在、6年生88名が、宮太鼓、締太鼓等の練習に励んでいるが、児童数は年々増える傾向にあり、ここに来て、発表会における照明不足が課題となっている。人数が増え、太鼓が増えてくると、体育館フロアに広がってたたくエリアも必然的に広がり、演技者を照らす照明不足から薄暗い中で演技する児童が増えている実情が見られる。

児童が安全に演技できる環境を確保するとともに、「児童の演技が見えにくい。照明を増やしてほしい」との地域住民や保護者の願いに応えるために、照明器具を増やしていきたい。そして、本校独自の教育活動を充実させる中、地域や伝統を重んじる児童の育成を図りたい。

⑥ 備考